

NEWS RELEASE

キヤノンITソリューションズ株式会社

クラウド型統合ID管理サービス「ID Entrance」の機能を拡張 フォームベース認証と統合Windows認証に対応

キヤノンマーケティングジャパングループのキヤノンITソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：金澤明、以下キヤノンITS）は、ID管理/シングルサインオン/アクセス制御などの一元管理を目的としたIDaaS「ID Entrance（アイディエントランス）」の追加機能として、「フォームベース認証」および「統合Windows認証」を2025年12月22日（月）より提供開始します。



フォームベース認証の概要図

■背景

IDaaS（Identity as a Service）の世界市場は、2024年時点で数十億ドル規模となっており、複数の調査で2030年にかけて年平均成長率20%を超える高成長が続くと推定されています。日本国内でもクラウド利用拡大やゼロトラスト移行に伴い、IDaaSは認証/アクセス管理市場の中心的な存在となっています。一方で、国内企業ではクラウド移行を進めつつも、オンプレミスの社内システムやレガシーなアプリケーションを使用しているケースが多く、クラウドサービスとオンプレミスの双方を利用する「ハイブリッド環境」は今後も続く見通しです。

■特長

「ID Entrance」は、各種クラウドサービスへのログインに使用しているIDやパスワードなどの情報を統合管理し、シングルサインオン機能（以下SSO）により、複数のアプリケーションやサービスを、1つのID/パスワードで利用できるサービスです。多要素認証や認証ポリシー機能を備えた認証/認可機能をクラウド上で提供しており、連携確認済みのクラウドサービスの数は230以上に及びます。

今回の機能拡張により、「ハイブリッド環境」のユーザー認証を一元化し、国内企業のガバナンス強化に寄与します。

新機能 レガシーなアプリケーションとのSSOを可能にする「フォームベース認証」

フォームベース認証とは、アプリケーションのログイン入力フォームに対し、ユーザーの代わりにユーザー名やパスワードを自動入力する認証方式です。従来SSOが実現できなかった多くのレガシーなアプリケーションに対してもSSOが可能となります。

新機能 オンプレミスのActive Directoryを生かせる「統合Windows認証」

統合Windows認証は、Windowsログオン情報をを利用してSSOを実現する認証方式です。Windows上で認証と認可を担うActive Directory環境でユーザーが一度Windowsにログインすれば、「ID Entrance」および連携先のクラウドサービスへの再認証が不要となり、利便性が向上します。

■展望

今後も続くと予想されるクラウドサービスの増加に対応できるよう、「ID Entrance」は継続的に連携可能なクラウドサービスを拡大していきます。また、ID管理業務の負荷軽減とともに、セキュリティのさらなる強化を図ります。

キヤノン ITS は、IT インフラに関するすべての領域に対応するサービス「SOLTAGE」ブランドのもと、クラウドセキュリティ領域をはじめとするサービスラインアップの拡充に継続して取り組むとともに、今後もセキュリティ対策や情報漏えい対策に課題を抱えるお客さまをワンストップで支援する体制をさらに強化してまいります。

| サービス名 | 価格（税別） | 提供開始日 |
|----------------|------------|-------|
| 基本ライセンス | 150 円/ID※ | 提供中 |
| クライアント証明書 | 200 円/デバイス | 提供中 |
| AD 連携（LDAP 型） | 100 円/ID※ | 提供中 |
| AD 連携（エージェント型） | 100 円/ID※ | 提供中 |

※ 1IDあたりの月額利用料です（最低購入数 5 ID）。利用ライセンス数分の購入が必要です。利用開始にあたっての初期費用はありません。

- 報道関係者のお問い合わせ先 : 企画本部 コーポレートマーケティング部 コミュニケーション推進課 03-6701-3603（直通）
- 一般の方のお問い合わせ先 : IT サービス営業本部 IT サービス事業企画部 03-6701-3513（直通）
- ID Entrance ホームページ : <https://www.canon-its.co.jp/products/identrance/>
- ニュースリリースホームページ : <https://canon.jp/newsrelease>

<新機能の詳細>

フォームベース認証

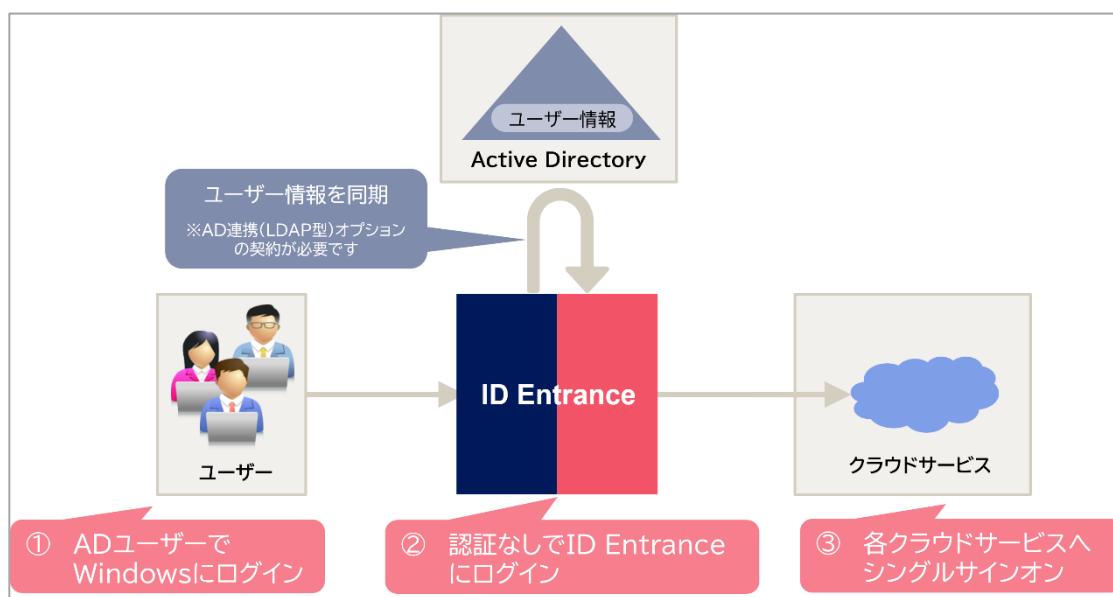
アプリケーションごとに自由に入力内容をカスタマイズできるため、ユーザーは「ID Entrance」に対してのみ認証を行うことで、連携先のアプリケーションにログイン可能となります。これにより、従来 SSO が実現できなかった多くのレガシーなアプリケーションに対しても SSO が可能となります。

なお、利用には、お客さま環境またはクラウド上にリバースプロキシサーバーの構築が必要です。

統合 Windows 認証

Active Directory 環境でユーザーが一度 Windows にログインすれば、「ID Entrance」および連携先のクラウドサービスへの再認証が不要となり、利便性が向上します。また、統合 Windows 認証では認証情報をネットワーク上に平文で送信しないため、セキュリティリスクを低減できます。既にオンプレミスの Active Directory 環境を持っていれば、既存の資産を生かしながら、利便性とセキュリティの向上を図れます。

なお、利用には、AD 連携（LDAP 型）オプションの契約が必要です。



統合 Windows 認証の概要図

<IT インフラサービス「SOLTAGE」>

クラウドインテグレーションサービス、ネットワークサービス、システム運用/保守サービス、セキュリティサービス、データセンターサービスを組み合わせて利用いただくことで、お客様が保有するシステム全体の運用負荷を軽減し、コア業務へのリソース集中を実現する、IT インフラに関するすべての領域に対応するサービスです。

SOLTAGE ホームページ <https://www.canon-its.co.jp/files/user/solution/soltage/lp/>

●Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。